令和5年度実施　協働事業

中間ヒアリング

●市民提案型協働事業

	事業名	パートナー	担当課	ページ
①	社会環境の変化に対応した地域活動の仕組みづくり支援事業 【継続3年目】	NPO法人 湘南NPOサポートセンター	協働推進課	P1
②	農業体験を通して不登校やひきこもりの若者と人材不足に悩む農家をつなぐ就農支援事業 【継続2年目】	NPO法人ぜんしん	・農水産課 ・農業委員会事務局	P5

令和5年8月
平　塚　市

令和５年度 協働事業 中間ヒアリング調書

2023 年　8 月 4 日

事 業 名	社会環境の変化に対応した地域活動の仕組みづくり支援事業		□行政提案型協働事業 ■市民提案型協働事業
団 体 名	湘南 NPO サポートセンター	担当課名	協働推進課

事業の進捗状況	☑　予定どおり　　□　遅れている 【今年度の進捗状況（事業実績等）】 ①　「事例集（仮称）素案」を踏まえた地域行事等の実践支援 →　横内地区：各種団体行事企画の意識合わせとして「みんなで語ろうミーティング」実施（6/17） ＊地域有志による「横内まちづくりを考える会（月 1 回開催」に SNPOC 鈴木が参画中。地域の大切なところを紹介する「ふるさとマップ」作成中 →　LaLa 湘南平塚コモンズ自治会：事業運営に関する課題解決に向けた打合せ調整中（7 月下旬～8 月上旬） ②　実践事例の効果の整理 →　①の実践試行後（夏から秋の行事後）に検討 11 月以降 ③　「事例集(仮称)」確定版の作成 →　昨年度素案として整理した 5 つの切り口ごとの事例に加え、これまでの市民大学での紹介事例や市外他地域での先進事例の整理を開始 【予算執行状況　　執行済額：325,601 円（7/30 現在）／予算額：2,866,000 円　】	
団体・担当課	団　体	担当課
課題 （困っていること）	①　これまで継続してきた地域行事を一気に変えていくには関係者との調整・合意が必要であり、そのための地域ニーズや協力団体との課題共有に時間がかかっている ②　昨年度のまとめとして、「地域づくりノート」と「地域づくりノート・ヒント事例集」の 2 部構成としたが、読み手となる市民の方々には読み物としてのわかりやすさが必要と考える。 ③　本事業の目的である「仕組づくり」の点では地域側だけでなく諸活動の所管となる市担当部局との連携の中で工夫していく方向性を出していくことか課題と考える。	①　モデル地区での意見交換や地域行事等の実践には、若い世代の方の参加も必要であり、日程調整に苦慮している。 ②　独自でアンケート調査や活動の見直しに取り組んでいる自治会もある。そうした自治会をどのように、この事業に巻き込み、「事例集(仮称)」の確定版に反映させるかを検討する必要がある。 ③　事例集素案には専門的な表現やデータ等が散見され、市民に伝わりにくくなることが危惧される。

課題の改善策	① 今回横内地域では、昨年から有志による「まちづくりを考える会」が発足し、アンケート＋ミーティングにもとづき具体的アイデアの実践化に着手し始めている。 団体役員中心の横断組織ではない新しい場の試行例として紹介していきたいと考える。 ② これまで各地域で団体横断的協議会等が設置され、独自活動や行事の調整等の場として活用されているが、意欲的な若い世代の声や地元企業を含めたより実効性ある活動への展開性について触れることも一案と考える。 その取り組み事例（例えばゆるぎの里、里山ラボ）等、これからの幅広な視点として紹介していきたい。 ③ 「地域づくりノート・ヒント事例集」については、基本に地域側の取り組みを中心にまとめておくことになるが、初年度実施した関係部局ヒアリングをふまえつつ、今後の活動支援条件についての再度関係部局のヒアリングを実施していきたい。 □アドバイスが欲しい	① 地域への出向きについては、団体との協力体制を一層強化し対応していく。 ② 独自で取り組んでいる自治会へのヒアリング等を行うとともに、事業の中でどう位置付けていくかを団体と検討する。 ③ 「地域づくりノート・ヒント事例集」の確定版の作成については、団体にのみ任せるのではなく、しっかりと協議しながら市民に分かりやすいものになるよう努める。 □アドバイスが欲しい
事業終了後の具体的な展開 ※下欄 次年度以降の展開（事業をどのように活かしていくか等）や、上記の選択項目の補足をご記入ください。	**☑双方で実施（□提案型　☑提案型以外）** **□団体が単独で実施** **□行政が単独で実施** **□今年度で休止または終了** **□その他（　　）** ・本事業のメインの成果としては「地域づくりノート・ヒント事例集」になるが、実効性あるものとして段階的に変えていくにはモデル地区での検討プロセスや行政側と一緒になった発展的知恵だしが不可欠と考える。 ・10 年継続した市民大学のリスタート、庁内若手職員研修会等に活用していただける新たな企画を検討する。	**☑双方で実施（☑提案型　□提案型以外）** **□団体が単独で実施** **□行政が単独で実施** **□今年度で休止または終了** **□その他（　　）** ・本事業の成果品である「地域づくりノート・ヒント事例集」を各自治会に提供するほか、各自治会長が集まる場で報告会等を行う。また、要望があれば、地域に出向いての報告会や研修会等の実施も検討する。 ・地域づくり市民大学等の既存の事業での活用についても団体と検討していく。
協働のポイント ※出来ていると思うものに☑を入れてください。	☑目的の共有ができている ☑適切な役割分担になっている ☑十分な協議ができている ☑対等な立場で協働している ☑協働による相乗効果がある	☑目的の共有ができている ☑適切な役割分担になっている ☑十分な協議ができている ☑対等な立場で協働している ☑協働による相乗効果がある
意見交換の内容・その他気付いた点（双方合同で記入）	（上記、各項目で相違点があった場合に話し合った内容や、お互いに意見交換したことなど） ・アフターコロナ以降、地域活動再開の動きが活発であるが、各種団体の役員メンバーはあまり変わらなかったり、変わっても活動していなかったため、従前の踏襲のような危惧が見受けられる。 ・横内地区のように自治会、社協、教育力ネット、小・中Ｐの有志コアメンバーで認識	

	を一つにして従来型の活動を見直していく機運づくりは重要ではないか 一方、LaLa 湘南平塚コモンズ自治会のように転入者の意見をもとに参加したくなる行事を企画し、行政側での支援を得ながら進めていくことも平塚スタイルとして重要かと思われる。 ・役員のなり手がいないというのは、役員になることで所属団体以外の関係団体の行事まで駆り出される実情に NO を出している感が見えてきた。役員ではなくとも地域のサポーターとして“楽しく”、“緩やか”に共動していける仕組み、さらには地域貢献に積極的な民間も参画する組織運営化への道筋を今後の提案として取りまとめていきたいと考える。

※現段階で可能な項目のみ記入してください。

令和5年度(2023)実施　市民提案型協働事業　活動記録簿

事業名	社会環境の変化に対応した地域活動の仕組みづくり支援事業

年度	月	日	場所	内容	出席者	
					団体	担当課
5	4月	5	平塚市内	全体企画・進行管理4～7月分(4か月)	鈴木	
		5	自宅	R4活動報告作成　4H	鈴木	
		7	自宅	R4活動報告作成　4H	鈴木	田中・大関・柿沼
		8	横内公民館	横内まちづくりの会打合せ／資料作成　4H	鈴木	
		18	センター	協働事業打合せ　2H	鈴木	
	5	13	自宅	まちづくりミーティング企画準備　2H	鈴木	
		28	自宅	まちづくりミーティングチラシ作成　4H	鈴木	
	4	18	センター	提案事業打ち合わせ　2H	宮崎	
	5	1	自宅	R4活動報告会資料作成　4H	宮崎	
		9	自宅	R4報告会資料作成　4H	宮崎	
		11	市役所	R4報告会プレゼン　2H	宮崎	
	5	11	市役所	平塚市役所での審査会傍聴(13:30～15:00)　1.5H	津田	
	4	1	センター	活動記録まとめ　4H	坂田	
		3	センター	活動記録まとめ　4H	坂田	
		4	センター	活動記録まとめ　4H	坂田	
		5	センター	活動記録まとめ　4H	坂田	
		6	センター	スタッフ支払い準備　2H	坂田	
		11	センター	スタッフ支払い準備　2H	坂田	
		13	センター	スタッフ支払い準備　2H	坂田	
		14	自宅	事業報告報告資料作成　2H	坂田	
		17	センター	事業報告報告資料作成　2H	坂田	
		18	センター	提案事業打合せ　2H	坂田	
		25	センター	提案事業打合せ　1H	坂田	大関・大沢田
		26	自宅	事業報告会資料準備　2H	坂田	
	5	8	センター	事業報告会資料準備　2H	坂田	
		10	自宅	事業報告会資料準備　2H	坂田	
		11	市役所	R4報告会プレゼン　2H	坂田	大関・柿沼
	6	3	自宅	まちづくりミーティング資料作成　2H	鈴木	
		5	ひらつか市民活動センター	定例打合せ　2H	鈴木	
		10	横内公民館	横内まちづくりの会打合せ　1H	鈴木	
		17	横内公民館	まちづくりミーティング運営　3H	鈴木	
		22	ひらつか市民活動センター	定例打合せ　2H	鈴木	
		23	センター	提案事業打合せ　1H	鈴木	大関・大沢田
	7	7	自宅	まちづくりミーティング結果概要整理　1H	鈴木	
		8	横内公民館	横内まちづくりの会打合せ　1H	鈴木	
		17	自宅	R5中間報告調書案作成　2H	鈴木	
		25	自宅	R5中間報告調書案作成　1H	鈴木	
	6	17	横内公民館	横内ワークショップ参加　(10:00～12:00)	津田	
		18	自宅	横内ワークショップ議事録作成(13:30～16:00)	津田	
		19	自宅	引き続き横内ワークショップ議事録作成(10:00～11:30)	津田	
		22	ひらつか市民活動センター	定例打合せ(17:30～19:30)	津田	
		23	自宅	定例会の課題;地方創生実態調査(13:00～15:00)	津田	
		25	自宅	地方創生実態調査まとめ、報告書作成(10:00～12:00)	津田	
	7	18	ひらつか市民活動センター	定例会打合せ(18:00～19:30)	津田	
	6	22	センター	打ち合わせ 2H	宮崎	
	7	18	センター	打ち合わせ 2H	宮崎	
	6	5	ひらつか市民活動センター	定例打合せ　2H	田中	
		22	ひらつか市民活動センター	定例打合せ　2H	田中	
	7	15	平塚市内(自宅)	定例打合せ用資料検討・作成　3H	田中	
		18	ひらつか市民活動センター	定例打合せ　2H	田中	
		28	平塚市内(自宅)	モデル地区LaLaコモンズ自治会まとめ方検討　3H	田中	
	4~7		自宅	4月～7月まで帳簿記録(月平均6.6H)	大澤	
	6	22	ひらつか市民活動センター	定例打合せ　2H	長谷川	
	6	2	センター	提案事業打合せ　1H	坂田	大関・大沢田
		5	センター	定例打合せ　2H	坂田	
		9	自宅	活動記録整理　2H	坂田	
		12	自宅	活動記録まとめ、支払い準備　2H	坂田	
		13	自宅	活動記録まとめ、支払い準備　2H	坂田	
		14	ひらつか市民活動センター	アンケート作成打合せ　1H	坂田	
		17	横内公民館	まちづくりミーティング1H	坂田	
		22	ひらつか市民活動センター	定例打合せ　2H	坂田	
		23	センター	提案事業打合せ　1H	坂田	大関・大沢田
	7	8	自宅	ヒント集事例検討2H	坂田	
		9	自宅	ヒント集事例検討2H	坂田	
		15	自宅	資料作成　2H	坂田	
		18	ひらつか市民活動センター	定例打合せ　2H	坂田	
		23	自宅	中間報告書確認作業1H	坂田	
		27	自宅	活動記録まとめ2H	坂田	
		30	自宅	中間報告書加筆・活動記録まとめ3H	坂田	
	4	12	市役所	自治会調査(広川自治会)		柿沼
	5	1	市役所	自治会調査(日向岡自治会)		柿沼
	7	28	市役所	自治会調査(LaLa湘南平塚コモンズ自治会)		柿沼

令和５年度 協働事業 中間ヒアリング調書

令和５年８月４日

事 業 名	農業体験を通して不登校やひきこもりの若者と人材不足に悩む農家をつなぐ就農支援事業		□行政提案型協働事業 ■市民提案型協働事業
団 体 名	特定非営利活動法人ぜんしん	担当課名	産業振興部農水産課・ 平塚市農業委員会事務局

事業の進捗状況	■　予定どおり　　□　遅れている 【今年度の進捗状況（事業実績等）】 体験者を募る事業説明会を１回、湘南ライスセンターの育苗作業を８回、振り返りミーティングを１回、作業手引き作成ミーティングを２回、実施した。 育苗作業体験には、延べ４５名の方々が参加した。体験者は、各作業等に対して真剣に取り組んだ。本年度は、新たに消毒作業を学び、体験する機会も頂いている。 また、昨年度に当該事業へ参加した体験者の３名が、本年度から初参加となる体験者へ作業方法を指導する等、リーダー役として各場面において活躍している。 更に、湘南ライスセンターの平塚市スマート農業の導入補助金の申請支援も行った。 このような状況を踏まえ、湘南ライスセンターからは今後、農作業を行う時期において「アルバイト雇用」について打診があった。 加えて、湘南ライスセンターとは別に、市内農家で研修を受けた２名のうち、１名が、研修先農家から「アルバイト雇用」について話があった等、１つの目標に掲げている体験者の「アルバイト雇用」については、実現の可能性が高まっている。 【予算執行状況　　執行済額：1,156,934 円 ／ 予算額：2,624,758 円　】	
団体・担当課	団　体	担当課
課題 （困っていること）	参加者が不安にならないように体験作業内容の理解を深めること。	参加者の中から、現場リーダーとなる人材の確保、育成を図っていくこと。
課題の改善策	参加者が不安に思う点等を「作業手引き作成会議の場」で確認しながら『作業手引き』の完成を目指し、不安等の払拭を図る。 ■アドバイスが欲しい	団体や担当課、受入先の３者で意見交換等を行い、参加者が現実的にステップアップできるような体制を検討していく。 □アドバイスが欲しい
事業終了後の具体的な展開 ※下欄 次年度以降の展開（事業をどのように活かしていくか等）や、上記の選択項目の補足をご記入ください。	□双方で実施（□提案型　□提案型以外） □団体が単独で実施 □行政が単独で実施 □今年度で休止または終了 ■その他（協働事業以外の連携） 農家の方々との信頼関係を築きながら各体験作業の理解を深めていく。デジタル関連のサポート等も進めながら団体が主体となる活動として継続を予定している。	□双方で実施（□提案型　□提案型以外） □団体が単独で実施 □行政が単独で実施 □今年度で休止または終了 ■その他（協働事業以外の連携） 農家等との調整や広報ツールの活用等を引き続き行うことで、農業の担い手不足という課題解決の一助となるよう、支援を行っていく。
協働のポイント ※出来ていると思うものに☑を入れてください。	☑目的の共有ができている ☑適切な役割分担になっている ☑十分な協議ができている ☑対等な立場で協働している ☑協働による相乗効果がある	☑目的の共有ができている ☑適切な役割分担になっている ☑十分な協議ができている ☑対等な立場で協働している ☑協働による相乗効果がある
意見交換の内容・その他気付いた点 （双方合同で記入）	（上記、各項目で相違点があった場合に話し合った内容や、お互いに意見交換したことなど） 湘南ライスセンター、特定非営利活動法人ぜんしん、平塚市役所の３者にて意見交換等の場を通して、事業の目的等の情報共有を図っていく。また、今後は、農家の方々の協力を得ながら就農先を開拓することで、若者の自立への道を切り開いていきたい。	

※現段階で可能な項目のみ記入してください。

（令和5年度実施）協働事業　意見交換・活動記録簿

事業名	農業体験を通して不登校やひきこもりの若者と人材不足に悩む農家をつなぐ就農支援事業 ～平塚市「スマートライスセンター」の通年営業モデルの創出に向けて～

年度	月	日	場所	内容	出席者	
					団体	担当課
5	4	1	農水産課	協働契約締結	柳川	加藤
	4	10	農水産課	事業の打合せ	柳川	加藤
	4	13	農水産課	事業の打合せ	柳川	加藤、 農業委員会事務局：所
	4	17	湘南ライスセンター	事業の打合せ	柳川	SRC:片倉 樹本、加藤
	4	18	農水産課	事業の打合せ	柳川	加藤
	4	24	武藤様・農園	雇用トライアル視察・打合せ	柳川	武藤
	4	27	崇善公民館	事前説明会	柳川、大倉、若林、 森岡、江藤	樹本、笹本、加藤
	5	5	湘南ライスセンター	農作業体験	柳川、古木ほか	市川、加藤
	5	8	湘南ライスセンター	農作業体験	柳川、古木ほか	樹本、笹本
	5	10	湘南ライスセンター	農作業体験	柳川、古木ほか	加藤、笹本
	5	13	湘南ライスセンター	農作業体験	柳川、古木ほか	樹本
	5	15	湘南ライスセンター	農作業体験	柳川、古木ほか	所
	5	17	湘南ライスセンター	農作業体験	柳川、古木ほか	加藤
	5	18	湘南ライスセンター	農作業体験	柳川、古木ほか	所
	5	22	湘南ライスセンター	農作業体験	柳川、古木ほか	所 加藤、笹本
	6	1	武藤様・農園	雇用トライアル視察・打合せ	柳川	武藤
	6	1	湘南ライスセンター	業務改善提案訪問	柳川	相原、瀬野
	6	1	電話	事業の打合せ・振り返りミーティング	柳川	加藤
	6	2	崇善公民館	振り返りミーティング	柳川、若林、山田	※台風による災害対策対応で欠席
	6	9	メール	事業の打合せ・作業手引きミーティング	柳川	加藤
	6	14	LAWSON平塚見附町店 まちカフェ	業務改善提案等ミーティング	柳川	SRC:片倉
	6	18	電話	事業の打合せ(スマート農業の補佐)	柳川	SRC:片倉
	6	27	崇善公民館	作業手引き作成ミーティング	柳川、若林、江藤	
	7	7	武藤様・農園	雇用トライアル視察・打合せ	柳川	武藤
	7	12	電話	雇用トライアルに関するフィードバック等	柳川	武藤
	7	20	メールと電話	事業の打合せ・事業説明会(9月)に関する広報ほか	柳川	加藤
	7	24	メール	事業の打合せ・事業説明会(9月)に関する広報ほか	柳川	加藤
	7	31	ひらつか市民活動センター	作業手引き作成ミーティング	柳川、若林、江藤	
	8	3	農水産課	事業の打合せ・中間報告会ほか	柳川	加藤、 農業委員会事務局：所
	8	4	農水産課	中間ヒアリング調書等の提出	柳川	加藤